

グループ2

1/13

脱炭素×みどい



どんな社会？

ミドリを増やすだけ？

住んでて心地よいまち“川崎”の提案

グループメンバー



2/13

加藤 哲郎	一般社団法人川崎市電設工業会
青木 菜々	株式会社グリーバル
越智 正夫	生田緑地共同事業体
矢野 清久	一般社団法人川崎市空調衛生工業会
桑原 幸司	プレス工業株式会社
横田 雅樹	(公社)全日本不動産協会神奈川県本部川崎支部
黒澤 真歩	株式会社日比谷アメニス
中田 理江	東京電力パワーグリッド(株)
日高 大地	株式会社 横浜銀行
藤田 将友	株式会社Den



産業革命以前と比べて「**1.5℃上昇**」は、地球温暖化の影響が人類に深刻な影響を与えるかどうかの「**境界**」



排出量と吸収量を
均衡させる

そのためには…

世界のCO₂排出量を**2050年前後**には**実質ゼロ**に抑える必要あり

世界の目標（パリ協定）

世界の平均気温上昇を産業革命以前に比べて**2℃**より十分**低く**抑え、さらに**1.5℃以内に向けて努力**をする



川崎市の温室効果ガス排出量は、2,026万トン※
このCO₂を吸収するためには**川崎市約160個分の森林**が必要！

※2020年度暫定値（二酸化炭素（CO₂）換算）

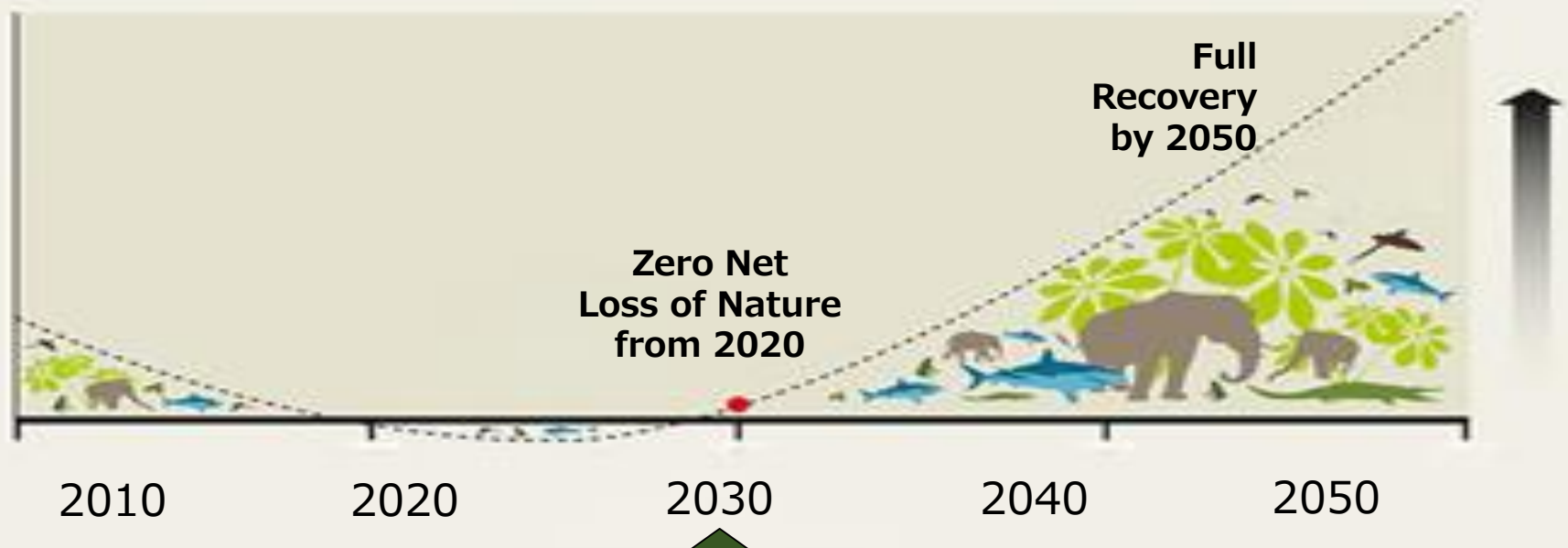
■ G7サミット 2021 @英国 コーンウォール（21/6/11～13）

2030年自然協約（Nature Compact）合意

- ・ 2030年までに自然生態系の損失を止め回復させること＝「ネイチャー・ポジティブ」

ネイチャー・ポジティブのイメージ

Global Goal for Nature: Nature Positive by 2030



ネイチャー・ポジティブ

川崎市の自慢！



公害を克服してきれいなまちに

公害問題

川崎なら
脱炭素もきっとできる！

臨海部の工

現在)

多摩川（1970年代）

生活排水やごみの流入により水質が悪化

多摩川（現在）

多摩川では天然の鮎が取れるように！

川崎市の取組み

川崎市地球温暖化対応推進基本計画

脱炭素社会の実現に向けた取組推進

- 川崎市臨海部のカーボンニュートラル化
- 市公共施設の再エネ100%電力導入等

生物多様性川崎戦略

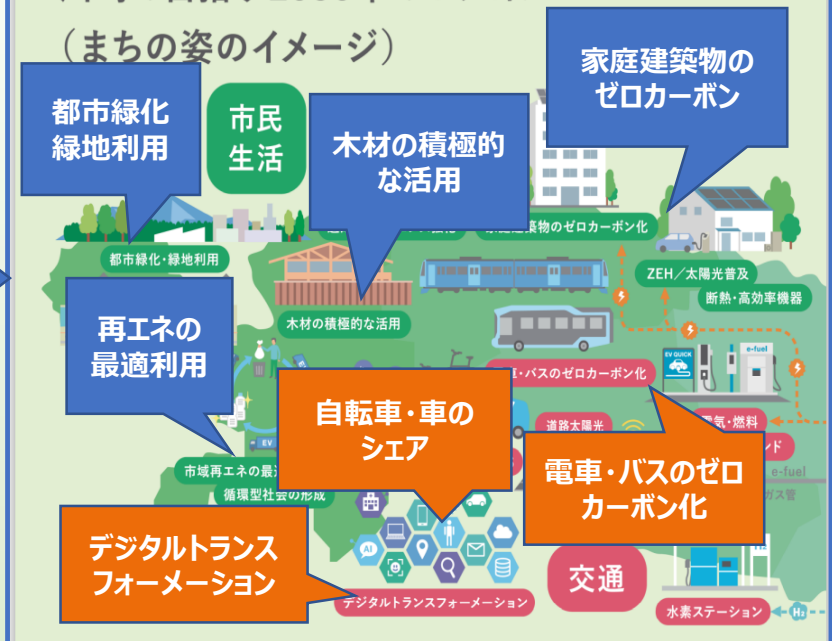
生物多様性に配慮した取組推進

- 植林保護活動
- 河川の生物調査等



2.川崎の目指す2050年のビジョン

(まちの姿のイメージ)



脱炭素×みどりチームが目指す姿

- CO₂を減らすと同時に緑化を推進し脱炭素社会に貢献したい。
- 官・民だけでなく、市民を巻き込んだ活動にし、持続可能な活動につなげたい。

私たちが解決したい課題

カーボンニュートラル社会の実現は
行政だけの取組では難しい

『脱炭素』の取組は成果が目に見えにくい・・・



カーボンニュートラル達成状況の見える化

**カーボンニュートラルにより得られる
効果をみんなが実感**





住みたい街 住み続けられる街

街中が森のにおい・花のにおい

街中が森のにおい・花のにおい

まずは川崎駅から！



街中が森のにおい・花のにおい



森や花のにおい



みどり



デジタルサイネージ

太陽光



在来種 ゆかりのあるみどり



JR熊本駅ビル
アミュプラザ熊本

街中が森のにおい・花のにおい

- みんなで創る・育む
- 育った草木の利活用
- 育った草木で炭素固定そして J-クレジット
- クラウドファンディング緑地

おわりに

世界に響け

みんなで作る新しい川崎の景色



ご清聴ありがとうございました

